

上飯岡児童センターの集約化について

平成30年8月17日
子ども未来部

上飯岡児童センター及び飯岡分室は、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」に基づき、施設の集約・複合化のための基本構想を策定し、地域住民への説明などを実施してきたところであるが、児童の安全確保を優先的に検討した結果を踏まえ、次のとおり集約化の内容を変更するものである。

1 「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」における位置付け

地域拠点施設への機能の集約化を図るため、増築も含め大規模改修する飯岡地区公民館、飯岡農業構造改善センター及び飯岡地区保健センターの上飯岡児童センター（飯岡分室含む）及び都南老人福祉センターの機能受け入れに取り組みます。

（計画より抜粋）

2 児童の安全確保へ等の課題

- (1) 上飯岡児童センター及び飯岡分室を利用する児童の約85%は、安全対策への配慮が特に必要である小学校1年生から3年生までの低学年である。
- (2) 飯岡小学校から飯岡農業構造改善センターに行くには、道路を横断しなければならない。現在も車の往来が多いが、今後こども園や小学校の児童数が増加する見込みであり、児童の送迎や関係者の車の往来がますます多くなる可能性がある。
- (3) 飯岡構造改善センターへの集約化では、センターの敷地内に館庭を確保できない。代替として農村公園^{※1}を利用することを検討していたが、再び道路を横断しなければならないうえ、センターから離れているため、児童厚生員が見守ることが難しい。

※1 農村公園は、飯岡小学校北側に隣接する市有地。

3 検討結果

飯岡農業構造改善センターへの集約・複合化については、上記2の課題があることから、児童の安全確保を優先的に検討した結果、『飯岡小学校に隣接している農村公園に児童センターと分室を集約化し、児童センターを単独館で整備する』ほうが児童の安全の確保とともに、館庭を整備できると判断したものである。

4 変更後の複合化の考え方

複合化にあたっては、既存の施設保有面積の縮減が必要であることから、新たに集約化して整備する施設の建設面積は、既存面積（分室を含む）を下回るように調整を図る。

また、上飯岡児童センター及び飯岡分室は当初の計画通り、児童センターを整備後、廃止または譲渡する。

5 今後のスケジュール

平成 30 年 9 月補正予算	農村公園の地質調査及び児童センターの実施設計委託料を計上
平成 31 年度当初予算	児童センター整備工事費を計上
平成 32 年 4 月	児童センター開所